

特別講演会：「刑事ナイチンゲール」来る！
(仮)「アメリカでの被害者支援の経験より

～警察とフォレンジック看護の連携～

日時 2017年9月7日(木)

14:00～17:00 開場 13:30

場所 グランドアーク半蔵門

3F トパーズ

講師：バージニア・リンチ氏

(Virginia A. Lynch)

国際フォレンジック看護学会創設者・初代会長



子どもや女性、高齢者への暴力・虐待・犯罪・事故・災害に遭遇した方への対応のあり方が、今、問われています。

2000年に「児童虐待の防止等に関する法律」等の関連の法律が制定され、行政レベルでの対策が開始され、これに前後して、女性、高齢者への暴力被害の問題について様々な機関や団体で研修会の機会も増えてきました。「暴力被害と健康回復」については、共通する視点や学術的知識体系についての「包括的な取り組みや議論の場」が絶対的に不足しているのが実情です。

特に刑罰や処罰を必要とする場合、「『被害者のケア』が手薄になる」ことは否めません。この課題について、被害者の健康回復のため「公衆衛生学や法医学的の知見を活かそう」という試みが「フォレンジック看護」です。

海外では、1992年に国際フォレンジック看護協会(IAFN)が設立され、暴力の根絶、実態の把握と予防、多様な被害者支援、専門職者の教育等および実践活動支援が行われており、親密なパートナーからの暴力:DV(IPV)、高齢者虐待、児童虐待、性暴力、人身取引、検死・死体解剖、刑務所(受刑者・矯正教育)、救命救急、メンタルヘルス、災害、公衆衛生等の問題に積極的に取り組み、世界から高い評価を得ています。また、「性暴力被害者支援看護師(SANE)」は、性暴力被害者への支援活動として、被害者の面談からアセスメント、証拠採取、適切なケアを行い、多職種と連携する活動として、日本でも参考とすべき点があると思われます。

今回、「刑事ナイチンゲール」との異名のあるフォレンジック看護のパイオニア、バージニア・リンチ氏の来日を機に、被害者への対応・支援、フォレンジック看護の役割、警察との連携等について、アメリカにおける取り組みを中心に講演していただきます。

主催 警察政策学会 市民生活と地域の安全創造研究部会、日本市民安全学会

申し込み先 警察政策学会事務局(03-3230-2918、FAX 03-3230-7007 asss3@lake.ocn.ne.jp)
(問合わせ) 石附 部会関係者等 hiro.ishizuki2324@jcom.home.ne.jp (090-30620034)
篠崎 (警察庁) 03-3581-0141(内線 3131)
上條 minirose0015-leo0202@docomo.ne.jp
山田 関係団体 yamada@rcakita.ac.jp